

ボーリングマイスター 『匠』東北に認定されて

川崎地質株式会社 古藤 啓基



この度は、ボーリングマイスター（匠）に認定していただき誠にありがとうございました。まだまだ勉強中の若輩者ではございますがこの荣誉に恥じぬよう日々精進してまいります。

私はボーリング業に就き早32年になります。日々学びの連続です。岩盤ボーリングは昔に比べボーリングツールや泥材も進化し採取率が上がりましたが、それだけでは良いコアは採取されません。諸先輩方がおっしゃる通り、孔内をイメージし地層にあった送水量、回転数、給圧で掘ってこそ良いコア採取ができます。同じ地層でも硬軟や破碎、含水などでも微調整をしなければならないのが今でも難関であり、軟弱ボーリングにおいては地層にあった泥水を作るのが一番のポイントだと思います。なぜなら地層にあった泥水を使用することでケーシングの挿入は数本で済む場合もあるからです。また、湧水、ガス噴出などの事前情報がある時はスムーズに対応出来ますが、情報が無く途中で湧水等があると段取り変えになる場合があります。更に時間を要することから現場の下見も重要です。これらの技術を後輩に教える際もなかなか言葉では表せない所もあり、長年の経験と感覚で判断しているのが現状です。掘削技術だけではなく運搬方法、仮設方法等も難しい現場は多々ありますので、より安全確実に作業出来るよう模索中です。

担い手不足が深刻化している昨今、幸いにも協力業者間の交流が多々ありお酒

を交わしながらの情報交換や難しい現場は後輩と共に見学をさせていただく中で、若手オペレーターにも分かりやすく技術を伝承することが出来ています。弊社の現場管理は若手技術者が多いので、今後も現場目線での指導も含め、更に安全、円滑に進めていくと共に、新たな担い手のより良い育成にも励みながら地質調査業に貢献したいと思います。

最後になりますが、ご推薦していただいた土木地質株式会社様、認定していただいた（一社）東北地質調査業協会関係各位様、ご指導していただいた諸先輩方に心よりお礼申し上げます。この度は本当にありがとうございました。



有限会社サンワーク 島貫 真樹



この度、応用地質株式会社様のご推薦により、ボーリングマイスター（匠）東北の認定をいただき、有難うございました。これまでご指導頂きました諸先輩方や協会の皆様に改めて感謝申し上げます。

ボーリングという仕事は、地中の見えない土質を想像しながら、正確さと安全性を求められる非常に難しい仕事です。日々の現場では、自然の厳しさや予測不能な状況に直面する事も多く、常に学びと挑戦の連続でした。その中で先輩方や仲間たちと相談し知恵を出し合い困難な現場も乗り越えての経験が自分自身の技術力や判断力を育ててくれました。今回の認定はそうした成長があつてのものだと感じています。

特に近年は、地震や豪雨、土砂災害など自然災害が全国各地で頻発しており、地質調査の重要性がますます高まっていると感じています。そのため、確かな技術と判断力が不可欠であり、日々その責任の重さを感じながら業務にあたっています。

また2025年は熊の出没が全国的に相次ぎ、私たちのように山間部等で作業する事が多い者にとっては、これまで以上に安全に作業を行うために、人的災害以外にも注意しながら現場KYを行い、改めて考える事により安全意識を強く持つようにもなりました。

ボーリング作業については、大変な仕事ではあります。しかし、その中にやりがいや喜びを感じる事もたくさんあります。さらに、近年ではボーリングツールの進化が進んでいます。それによって、

難しい土質であっても品質高く、より正確に採取できるようになりました。今後さらに、ボーリングツールが進化し、業界としても盛り上がっていくことに期待を感じています。

昨今のボーリング業界は、人手不足が問題視されており、私自身も人手不足をひしひしと感じておりますが、今後、よりボーリング業界が盛り上がるように日々精進し、貢献していけるよう頑張りたいと思います。

最後になりますが（一社）東北地質調査業協会の皆様やご推薦頂いた応用地質株式会社の皆様に心よりお礼申し上げます。この度は本当にありがとうございました。

